

鎗田英三先生を送る

経済経営学部長 伊藤 雅 道

1987年に開学した本学は、2012年に25周年を迎えました。また、1990年にスタートした経済学部は2013年には組織改革により経済経営学部と改め、今年2015年は創立25年と言う節目の年を迎えています。

その1990年経済学部のスタートからの創設メンバーのお一人でもある鎗田英三教授が2016年3月をもって退職されることとなりました。

鎗田先生は、1969年早稲田大学政経学部を卒業され、その後一橋大学大学院経済学研究科を経て、1982年より長崎大学経済学部にて助教授として赴任、1989年より同教授とされました。そして、1990年開設されたばかりの本学経済学部に着任されました。

先生の本学における八面六臂のご活躍については多くの先生方の知るところと思われませんが、特に力を注がれたのは地域交流事業の分野でした。経済研究所の活動からさらに一歩進められて、2001年にはユニークな組織である駿大・地域フォーラムをスタート、地域の実業家、市役所職員らとともにさまざまな活動を展開されました。その活動の一端は活動報告集『駿大・地域フォーラム』で知ることができます。また、2004年には先生のご尽力により「学生参加による〈入間〉活性化プロジェクト」がスタートし、入間市と協力してさまざまな取り組みがなされていますが、特筆すべきなのは駿大ふれあいハウスで実施されている「豊岡プチ大学」です。先生はこのコーディネーターとして市民のための地域の知の拠点作りに大きく貢献され、その成果は今年発行された『豊岡プチ大学10周年記念誌』にまとめられています。また、2011年から2年間にわたって副学長を勤められ、大学の地域連携事業全体の指揮をとられました。

研究面では欧米経済史の分野を専門とされ、「ドイツにおける製パン手工業の社会経済史的研究」を主なテーマに多くの業績を残されています。特に2011年に出版された『製パンマイスターとナチス』は391頁にも及ぶ重厚な大著です。また、学部では「経済史」「欧米経済史」などの専門科目のほか基礎科目である「歴史学」も担当されました。

大学の管理運営面にも大きく貢献され、前述した副学長のほか、駿河台大学キャリアセンター長、大学理事など多くの要職を歴任されました。しかし、何といても我々の記憶に刻まれているのは経済学部長を務められ、学部の教育・研究を獅子奮迅のごとき強いリーダーシップで進められた姿でしょう。

鎗田先生のこれまでの長く、そして大きなご尽力、ご貢献に対し、心より感謝申し上げますとともに、これからのご健勝とご活躍を祈念する次第です。